



秋庭 繁 議員



市民の足（ぐるりん号、愛・あい号）のダイヤ改正について

問 ぐるりん号のダイヤ改正で「利用できない、空気を運んでいる」などの意見が出されている。早急に改善を求める要望に対する今後の対応、スケジュールについて伺う。

答（市民部長） 要望が多かった南コースをはじめ、古河庁舎・福祉の森コース、北コースの運行本数や順路の見直しなどを、運行事業者とともに検討をして

※FM…ファシリティマネジメント（公共施設等の総合的な管理および活用に関する取り組み）

いる。改正時期は、年度内を目指している。

学校施設環境改善交付金の活用について

問 国の学校施設環境改善交付金を活用し、小中学校体育館の空調設備設置と教室の断熱化による教育環境改善について伺う。



暑い寒いを無くす快適な教育環境

答（市長） FM^(※)の観点を含め、断熱性を確保したうえで、児童生徒の教育環境の側面と、避難所として利用する市民の快適性の両面から、引き続き有効な対

策について検討していきたい。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応と、まちづくりについて

問 ワクチン接種、市内の医療・老人施設などへの補助の継続、花火の実行委員会再開、盆踊りの継続など、疲弊した市内経済の活性化とにぎわいづくりについて伺う。

答（市長） ワクチンに対する補助等は、インフルエンザを含め、これまでも進めている。花火大会は、開催の時期、場所、内容等を検証、検討し実行委員会で中止を決定した。盆踊りは復活したいというご要望があれば、最大限支援したい。「市民力」が試される時代であり、古河市民には非常に大きな力がある。



古川 一美 議員



生涯現役社会に向けた高齢者施策について

問 高齢化がさらに進み、介護保険制度の持続可能性が今後の課題となる。健康寿命の延伸、社会参加の促進、就労支援の充実等が求められる。世の中のお役に立ること自体が幸福なことだと思う。与えられる側から与える側に転換し、できるだけ長く社会のお役に立ち、生きがいを感じられるような施策が必要になると考える。所見を伺う。

答（市長） 高齢者の皆さまが、住み慣れた地域で生きがいを持ち充実した毎日を過ごすためには、安心して暮らすことができる地域づくりが必要となる。古河市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定を進めており、協議の中で、健康寿命の延伸、就労支援、高齢者の社会参加、生涯学習の取り組みなど、高齢者の皆さまの生活を支える仕組みづくりを盛り込んでいきたい。



取手市・シニアのための相談窓口

人口減少対策について

問 人口減少の要因の一つに若者層の東京圏への流出が多いことが考えられる。早い段階で地元企業の魅力を知り、地元で働くイメージを持てるよう中学生を対象に、地元企業の出前授業や工場見学を行ってはどうか。

答（産業部長） 地元企業の魅力を知ってもらう取り組みとして、新たな事業を進めている。一つ目は、市内小学校4年生から6年生の保護者を対象とした市内の工場見学ツアーで、11月に実施する予定で関係機関と調整している。二つ目は、市内企業紹介のショート動画の作成、配信で、ハローワーク古河と連携し進めている。